

## ～LRRRI ニュース 2021 年 5 月号～

### ●新たな事務局スタッフが決まりました

令和 2 年度事務局をサポートしていただいた今澤真紀さんが常勤職を得て、退任されましたので、令和 3 年度より、新たなスタッフ（パートタイマー）として廣野礼子さんが加わりました。ただ、廣野さんも常勤職を持っていますので、時間外のサポートになります。そのため、岡本昌弘理事にもご尽力いただき、(株)地水開発横浜事務所にご勤務の野坂夕子さんも、5 月の連休明けから協力いただけることになりました。

### ●「役員だより」5 月号を掲載します

令和 3 年 3 月から、「代表だより」を「役員だより」に変更し、3 月号は岸田副代表理事が担当しましたが、都合により、4 月号と 5 月号は安原代表理事が担当します。なお、6 月号は須田副代表理事が担当の予定です。

### ●「技術者講座」のご案内とご報告です

締切期限を延長（オンサイト：4月30日まで、オンライン：5月10日まで）した関係もあって、145 名の多くの皆様のご参加を戴き、1 回目が 5 月 19 日（水）に終了しました。第 2 回目は 6 月 2 日（水）の予定です。

### ●2021 年度「地盤品質判定士」資格制度情報（岸田副代表理事提供）

#### ①2021 年度「地盤品質判定士」資格試験の日程

[2021chirashi.pdf \(jiban-jage.jp\)](#)

試験：2021.10.24（日） 一次（午前）・二次（午後）

申込：2021.5.7（金）～6.30（水）

#### ②受験要件の拡大（今年度からの要件）

- ・宅地地盤調査主任（全国住宅技術品質協会）
- ・宅地造成技術講習修了認定者（全国建設研修センター）
- ◎受験要件を得るための講習会（6 月上・中旬、地盤品質判定士協議会）

#### \* <ご参考> 地盤判定士登録者数（2021.4）

- ・（全国）判定士：1,134 名
- ◎（茨城県）判定士：14 名（全国の 1.2%で、人口比では約半分）
- ・（全国）国民：127,094,745 名（2015.10）
- ◎（茨城県）県民：2,916,976 名（2015.10、全国の 2.3%）

## ●地盤災害に対する「よこはま宣言」(岸田副代表理事提供)

NPO ブルーアースと地盤品質判定士会神奈川支部の両組織（ともに、岸田隆夫副代表理事が所属）は、気候変動に伴う地盤災害の防止と被害削減を目指して広く活動する旨の“地盤災害に対する『よこはま宣言』”を公表しました。下記にアクセスください。

・「地盤災害に対する『よこはま宣言』」一般社団法人地盤品質判定士会神奈川支部

<https://www.hanteishi.org/kanagawa/post-1268/>

・「地盤災害に対するよこはま宣言」NPO ブルーアース

<https://www.hanteishi.org/kanagawa/wp-content/uploads/2021/04/f066a1994d8cbce08ac76445d851b17e-1.pdf>

……………上記 HP の内容を両組織に許可を受けて転載……………

NPO ブルーアースと地盤品質判定士会神奈川支部、及び、有志による

### 地盤災害に対する『よこはま宣言』

私たち、NPO ブルーアースと地盤品質判定士会神奈川支部、及び、有志（以下、「私たち」と表示）は、気候変動に伴う地盤災害の防止と被害削減を目指して、以下の活動を行うことを広く宣言します。

#### (背景)

昨年（2020）10月15日～11月12日の間に、対面とオンラインによる“ハイブリッド形式”で、「地球環境変化と地盤防災・減災を横浜から考える」のテーマで、私たちは「NPO ブルーアースのエネルギー & エコロジー・防災セミナー（第17回）」を共同して主催し、横浜の場で、気候変動と地盤災害について学び、共に考え、意見を交わしました。横浜市の助成金を受け、延べ149名の参加を得ました。

#### (目的)

元米国副大統領アル・ゴア氏が提唱する「気候変動を学び、つながり、行動すること！」を、地盤災害を対象として、災害の多い我が国の中でも地盤災害の最大級のリスクが潜む横浜で活動を始め、その成果を神奈川県、日本と広げ、さらに、アジア、世界と連携して、地盤災害を防止と被害削減することを目指します。

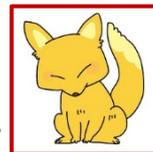


<https://special.sankei.com/#seiron/article/20191115/0001.html>

気候変動リスクへの行動を説くゴア元米国副大統領

#### (私たちの課題)

- ①気候変動に伴い地盤災害のリスクは高まっており、リスクを下げる具体的な行動が必要です。
- ②このリスクを知り、考え、議論して、行動を起こすことで、リスクを下げるができます。
- ③現在の環境リスクを下げ、地盤災害による被害を低減する強い意思を、私たちは持っています。



#### (私たちの具体的行動)

私たちは、1.自助の促進、2.共助の支援、3.公助の補助の形で、具体的な行動を起こします。

1. 自助の促進：私たちは、参加者自身が発表者になる自律型セミナーを、定期的で開催します。コロナ禍の中でも、対面とオンラインを組み合わせることで実現します。

2. 共助の支援：①私たちは、市民向けの無料相談会を実施します。

②この『よこはま宣言』に賛同する企業及び県内外の団体の活動を、私たちは技術面を中心に支援します。

③私たちは、広く開かれた「気候変動と災害に関するシンポジウム」を運営、開催します。

3. 公助の補助：この『よこはま宣言』の趣旨に沿う横浜市役所、県内市町村、神奈川県庁、国の活動を、市民向けの説明会へ講師を派遣、市民へ参加を呼びかけ、補助・支援します。

加えて、市民目線と技術者視点を融合して、定期的な官民の意見交換会を提案して参加します。併せて、政策提言を行政に提出します。

これらを、私たちは、短期・中期・長期に分けて、着実に実施することを、『よこはまから宣言します！』

以上

\* \* \* \* \*

#### ●関連団体からのシンポジウムのご案内(足立会員提供)

★『自然災害における宅地被害の救済と予防を考える』（主催：日本弁護士連合会）★

■日時：6月3日(木) 17:30～20:00

■開催方法：Zoom ウェビナーによるオンライン開催

■参加費など：参加費無料・事前申込制（申込期限：5月31日）

■参加対象：弁護士および宅地開発・土木関係者をはじめ、どなたでもご参加可能

※) 詳細と参加申し込みは下記 URL から

<https://www.nichibenren.or.jp/event/year/2021/210603.html>

基調講演は、京都大学防災研究所の釜井俊孝教授の『震災後 10 年 残された課題』です。

詳細については、下記チラシをご覧ください。

[https://www.nichibenren.or.jp/library/pdf/event/year/2021/210603\\_chirashi.pdf](https://www.nichibenren.or.jp/library/pdf/event/year/2021/210603_chirashi.pdf)

#### ●設立 1 周年記念フォーラムのご案内です

「創設一周年記念フォーラム」スケジュール

◆日時：2021年（令和3年）7月3日（土）（15:00～17:30）

◆参加形式：会場とオンラインの併用による“ハイブリッド形式”

・（会場）茨城県産業会館（茨城県水戸市桜川 2-2-35）2 F 研修室（受付開始 14:40）

・オンライン参加の場合は、後日、お申込みの方に Zoom の URL をお送りします。

（通信開始 14:45）

◆参加料：無料

◆プログラム：（司会：副代表理事 岸田 隆夫）

- ① 記念講演（60分）：（オンライン講演者：安田 進 東京電機大学名誉教授）＋質疑応答  
演題：「液状化対策技術の現状と課題と展望」
- ② 話題提供（30分）：会員による「今、私が一番大切だと思っていること」で話題提供
  - 1)安原一哉代表理事「LRRiにおける“先義後利”とその先にあるもの」
  - 2)岡本昌弘理事「茨城県土の強みと弱さ」
  - 3)丸山 泉 監事「私たちが将来に向けて伝えて行きたいこと」
  - 4)須田裕之副代表理事「LRRi が主導する I C R T の利活用」
- ③ 参加会員全員の1分スピーチ＋パネルディスカッション（60分）

◆後援：地盤工学会関東支部

茨城県建設コンサルタント協会

◆CPD ポイント：地盤工学会関東支部から賦与

◆参加のお申込み：別紙の申込書にご記入の上、次のアドレスまでお送りください（締切り 6 月 25 日）。賛助会員におかれましては、代表者または窓口の方が、まとめてご記入ください。

【お問合せ先】LRRi 事務局： [staff@lrri.or.jp](mailto:staff@lrri.or.jp) 廣野礼子

### ●“気候変動対応技術&ビジネス”に関する特別講演会のご案内

本講演会は、（一社）地域国土強靱化研究所令和3年度総会後に開催されるもので、ご講演後には、会員の報告会も予定しております。詳しくは、ホームページ（<https://lrri.or.jp>）をご覧ください。

■日時：8月25日（木）14:40 – 15:40

■場所：茨城県産業会館2F 研修室

■演題「気候変動対応産業の展望」

（“建設業の役割と期待”も含めていただきます。）

■演者：秋元圭吾博士（公財）RITE 主席研究員

■共催、または、後援：土木学会関東支部茨城会に依頼中

茨城県建設コンサルタンツ協会に依頼予定



（秋元圭吾博士）

**\* 会員の皆様からの情報のご提供をお待ちしています。**

[staff@lrri.or.jp](mailto:staff@lrri.or.jp) または、 [hirono\\_reiko@lrri.or.jp](mailto:hirono_reiko@lrri.or.jp)

までご連絡ください。なお、掲載の可否は、理事会（役員会）において決めさせていただきます。ご了承ください。